

令和4年度 重点政策

「道民の命と暮らしを守り、本道の強みを活かして挑戦する」

基本的な考え方

〈守りの視点〉

変化を繰り返す新型コロナとの闘いが依然として続いており、**感染拡大を抑制し、「道民の命と暮らし」を守る。**

〈攻めの視点〉

経済の再生と生活様式の変容や気候変動リスクの顕在化、デジタルをはじめとした未来技術の進展に対応し、ポストコロナを見据えて道自らも率先しながら「**本道の強み**」を活かした先進的な取組に挑戦する。

守りの視点

「道民の命と暮らし」を守る感染症に強い安全安心な地域づくり

- 1 医療提供体制等の確保と感染症対策の徹底
- 2 暮らしと経済への影響の最小化
- 3 強靱で安全安心な地域づくり

攻めの視点

「本道の強み」を活かした先進的な取組への挑戦

ウィズコロナを踏まえ従来の施策を見直しつつ加速

- 1 本道の強みを最大限活用した需要の取込み
- 2 コロナ禍からの経済の再生と地域産業の活性化
- 3 健全な成長につながる豊かな社会環境づくり

将来を見据え、今から取り組むべき施策を先取り

- 4 地域の特色を活かし全道一丸で取り組む「ゼロカーボン北海道」
- 5 暮らしや産業へのデジタル化の浸透による「北海道Society5.0」の実現

かけ合わせによる相乗効果

令和4年度 重点政策のポイント

守りの視点 I 「道民の命と暮らし」を守る感染症に強い安全安心な地域づくり

1 医療提供体制等の確保と感染症対策の徹底

(1) 医療提供体制等の確保

- ▶ 入院病床・宿泊療養施設の確保と自宅で安心して療養できる体制の構築
- ▶ 保健所と衛生研究所の体制・機能の強化や、最前線で活躍する看護職員・介護職員等の処遇改善の支援
- ▶ 検査体制の充実強化
- ▶ 円滑なワクチン接種に向けた接種体制の確保や個別接種の促進

(2) 感染拡大防止対策の徹底

- ▶ 道立施設・学校・社会福祉施設等の保健衛生用品等の整備

2 暮らしと経済への影響の最小化

(1) 暮らしや学びの不安を取り除き、日常生活の回復に向けた支援

- ▶ 生活に困窮されている方の自立に向けた支援など暮らしを支えるセーフティネットの確保
- ▶ コロナ禍で不安を抱える方や児童虐待に係る相談体制の整備、DV・性暴力被害者への支援
- ▶ 学習指導員等の配置と分散授業など感染症対策の充実

(2) 感染症対策と経済活動の両立に向けた支援の確保

- ▶ 感染防止対策と経済活動の両立に向けた北海道スタイルと飲食店の認証制度の普及
- ▶ 事業継続に向けたBCP策定支援等の実施と離職を余儀なくされた方の再就職支援

3 強靱で安全安心な地域づくり

(1) 地震・津波など自然災害への備えと赤潮対策

- ▶ 減災目標策定に向けた調査と高校生防災サミットの開催など防災教育の充実
- ▶ 河川・道路をはじめとする重要インフラの機能強化、橋梁等の社会資本施設の老朽化対策の着実な推進
- ▶ 赤潮の発生予測に向けたモニタリングの実施と漁場環境の回復に向けた支援

(2) ヒグマやエゾシカなどの野生鳥獣による被害防止と動物愛護の推進

- ▶ ヒグマの出没抑制・被害防止対策の強化と動物愛護管理センターの早期運用開始を見据えた体制構築と実証

(3) 交通ネットワークの形成

- ▶ 観光列車等の導入支援など鉄道利用の促進やシームレス交通の実現に向けた連携体制の構築

攻めの視点

II 「本道の強み」を活かした先進的な取組への挑戦

～ ウィズコロナを踏まえ従来の施策を見直しつつ加速～

1 本道の強みを最大限活用した需要の取込み

(1) 食における戦略品目の開発と観光における高付加価値化の推進

- ▶ 新たな戦略品目として期待される農作物や漁獲量が増加している魚種の重点的な活用
- ▶ アドベンチャートラベルによる新たな価値の創出と縄文世界遺産・ウポポイなど地域資源の磨き上げや活用
- ▶ ワークেশョンの推進など地方への関心増を捉えた関係人口の創出と拡大

(2) デジタルツールを利用したマーケティングと戦略的なプロモーションによる需要の取込み

- ▶ 国内外の需要動向を踏まえた、オンライン商談会や通信販売、スーパー・百貨店と連携した消費の拡大
- ▶ どさんこプラザを活用した情報発信の強化やアプリを活用した観光プロモーションとデータの活用促進
- ▶ 国と連動した旅行商品・乗車券の割引や地域・民間と連携した航空ネットワークの形成

(3) 力強い農林水産業の確立に向けた生産基盤の強化

- ▶ 農家負担の軽減による農業生産基盤の整備促進など農林水産業の生産基盤の強化

2 コロナ禍からの経済の再生と地域産業の活性化

(1) コロナ禍の影響を受けた中小・小規模企業の新たな取組の促進

- ▶ コロナ禍からの再生に向けた新事業展開や販路開拓など新たな挑戦の支援

(2) リスク分散の視点の多様化を捉えた企業の誘致

- ▶ 道内へのサテライトオフィスの設置や本社機能の移転促進
- ▶ 海外からの成長力を取り込む投資促進

(3) 働き方改革の推進と地域産業を支える多様な人材の育成・確保

- ▶ 多様で柔軟な働きやすい職場環境の整備に向けた働き方改革の推進
- ▶ 農林水産業や建設産業など多様な担い手の育成や外国人材の確保
- ▶ 若年者や女性など多様な働き手の安定的な就業の促進
- ▶ U I J ターンによる就業促進と異業種から人手不足業種への労働移動の支援

3 健全な成長につながる豊かな社会環境づくり

(1) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

- ▶ 大学生など若い世代の意見や感性を子育て施策へ反映するユースプランナー制度の創設
- ▶ 市町村と連携した子育て支援の総合的な推進
- ▶ ひとり親家庭への相談窓口強化と医療的ケア児支援センターの設置
- ▶ ヤングケアラーに関する普及啓発と相談体制の構築
- ▶ 学校のICT活用のための支援体制の構築

(2) 多様な存在を認め支え合う社会づくり

- ▶ ネット上の差別や偏見、誹謗中傷などの防止や多様性への理解促進

(3) 本道独自の歴史・文化の理解促進とスポーツの振興

- ▶ 縄文世界遺産やアイヌの歴史・文化、北方領土問題への理解促進
- ▶ スポーツに親しめる環境づくりの推進

攻めの視点

II 「本道の強み」を活かした先進的な取組への挑戦

～ 将来を見据え、今から取り組むべき施策を先取り～

4 地域の特色を活かし全道一丸で取り組む「ゼロカーボン北海道」

(1) 関連計画目標 (R3) や条例 (R4) の見直し

- ▶ 「地球温暖化対策推進計画」「省エネ・新エネ促進行動計画」「森林吸収源対策推進計画」に基づく総合的な施策の推進

(2) 地域の特色を活かした脱炭素化の推進

- ▶ 本庁と振興局ゼロカーボン推進室が一体となり計画策定支援や地域の合意形成など地域の実情に応じた支援
- ▶ 再生可能エネルギー設備や導入効果を増大させる省エネルギー設備導入への支援
- ▶ 北方型住宅の普及促進など住宅の省エネ化の推進

(3) 道民・事業者への働きかけ

- ▶ 家庭での取組の成果を気軽に実感できるアプリの開発と事業者の排出実態を公表する排出量ボードの作成によるCO₂排出量の「見える化」
- ▶ 「ナッジ」を活用した道民の行動変容の促進

(4) 自然豊かな本道ならではの吸収源対策等の推進

- ▶ 環境への負荷を軽減した農業の促進
- ▶ 森林資源の循環利用の確立
- ▶ ブルーカーボンの活用検討と取組支援

5 暮らしや産業へのデジタル化の浸透による「北海道Society5.0」の実現

(1) ドローンの利活用促進と暮らしのデジタル化の推進

- ▶ 本道の厳しい積雪寒冷条件下での実証による災害時や物資配送へのドローンの活用拡大
- ▶ 介護の現場におけるロボットやICT機器の普及・導入の支援

(2) 生産性向上につながる農林水産業のデジタル化

- ▶ スマート農林水産業の推進による生産性の向上

(3) 道内IT企業の競争力強化と宇宙関連ビジネスなど未来産業の育成

- ▶ 国内外における商談会などの開催によるマッチングや道外展示会への出展等によるIT企業の販路拡大の支援
- ▶ 宇宙関連産業の成長産業化に向けたビジネス創出と企業等の誘致

(4) 地域におけるデジタル化の支援

- ▶ AI、IoTを活用した地域活性化・新産業創出につなげる実証
- ▶ 市町村のデジタル化を支えるデジタル人材の確保

(5) ものづくりにおけるIoTやロボティクスなど先端技術活用による技術力向上の支援

- ▶ 現場技術者の専門人材化に向けた研修の実施
- ▶ 企業におけるデジタル技術導入の促進

「グリーン」×「デジタル」 かけ合わせによる相乗効果

- ▶ 再生可能エネルギー活用の『次世代データセンター』の誘致と関連産業の集積

道の率先行動による取組の加速化

(5) 道自らの計画達成に向けた取組

- ▶ 公用車の次世代自動車化の推進
- ▶ 太陽光パネルの設置や新築・改築庁舎のZEB化の推進
- ▶ 職員の率先した行動

(6) Smart道庁の推進による新しい働き方

- ▶ 道の事務事業のデジタル化による円滑な行政サービスの実現
- ▶ ICTを活用した業務効率化と職員の多様な働き方の実践